

企業との
協働

住友理工株式会社

《第9回住友理工 夢・街・人づくり助成金
in 北尾張》

10月6日(土)

市民活動団体の支援を目的に2010年からスタートした「住友理工 夢・街・人づくり助成金」。書類による一次審査を通過した3団体が、小牧勤労センターにおいて公開プレゼンテーションを行いました。採択された事業は次の通りです。



▲採択された団体のみなさん

	夢づくりスタート部門(助成金 5 万円)		街・人づくり部門(助成金 10 万円)
団体名	障がい者支援事業団体 よつぱランド	江南市国際交流協会	コトモ
事業名	お茶会事業	多文化共生推進事業 (わいわいプラザ交流会)	産前産後サポーター養成講座の開 及びマイ資格取得応援活動事業
事業内容	障がい者本人・支援者・ 地域住民を対象とした お茶会(1回)	外国や日本の料理・伝統文 化を楽しむ会(毎月1回)	産前産後サポーター養成講座3日間 マイ資格取得応援 学習交流会(保育 士資格取得に関する情報共有)2回

住友理工株式会社

7月5日(木)・6日(金)

《住友理工 新入社員研修
社会貢献活動体験》

1日目の研修は、ここばかりまき代表の山中和彦氏から「障害者差別解消法を知ろう」をテーマに、グループディスカッションも組み込んだ講話をしていただきました。

2日目は、新入社員 60 名が、市内9か所の高齢者や障害者などの施設に分かれて体験実習を行いました。この経験で相手の立場に立つて接することの大切さや、社会貢献活動に対する関心が深まったなどいろいろな気づきがありました。



▲施設で利用者と共に作業する様子

CKD 株式会社

7月27日(金)

《CKD 「モノづくり」 から学ぶ理科教室》



▲親子で共同作業

小学3年生から6年生までの親子32組がCKD社員のサポートのもと、身近な材料を使って空気力で動くストロー風車とスポイトロケット作りに挑戦しました。空気孔を調節することで回転する風車と大きく飛び上がるスポイトに、参加した子どもたちは楽しそうに声を上げていました。

また、工場見学では間近で見る機械の動きや力に驚いていました。講師の並木道義氏(NPO法人子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)会長)からの、小惑星探査機はやぶさ2の最新情報を交えた宇宙の話にも、子どもたちは興味深く聞き入っていました。



▲参加者全員での集合写真

行政との
協働

平成30年度協働提案事業化制度

《小牧市新入職員「協働」研修》事業

8月22日(水)・9月26日(水)

第1回目は、実際に活動している市民活動団体から活動内容や目的、今後の夢などをお話いただき、また、北名古屋市総務部市民活動推進課の樋口由訓課長補佐からは、ご自身が実際に行っているまちづくりの活動事例をお話いただきました。団体と行政のそれぞれの立場から生の現場の話を聴く良い機会となりました。

第2回目の研修は「なぜ協働が必要か考えてみよう」をテーマに、グループディスカッションを行いました。後継者不足、子育ての孤立化、多文化共生などの課題があげられ、新入職員らしい視点で、市民・行政の両方の立場から考えた斬新なアイデアが出されました。



▲グループディスカッションの様子